

ワイヤレスファイルトランスミッター

WFT-E6

WFT-E8

EOS C300 Mark II用ガイド

目次

本書の読みかた	3
カメラに取り付ける.....	4
1 無線ネットワークの設定を行う	5
ネットワーク機能について	6
無線ネットワーク接続について	7
カメラアクセスポイントで接続する	8
インフラストラクチャーで接続する	10
WPS で接続する	11
アクセスポイントを検索して接続する	13
手動設定で接続する	15
TCP/IP を設定する	16
ブラウザーリモートの接続設定を行う	18
ブラウザーリモートのユーザー設定を行う	19
無線ネットワーク設定を確認する	20
2 ネットワーク機能を使う	21
ブラウザーリモートを起動する	22
メディアサーバーを起動する	25
3 その他	27
トラブルシューティング	28
エラーメッセージ	30
索引	33

本書の読みかた

ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E6 / WFT-E8をカメラに取り付けて無線LANに接続すると、カメラのネットワーク機能を使うことができます。本書では、WFT-E6 / WFT-E8のカメラへの取り付けかたや設定方法について説明しています。WFT-E6 / WFT-E8の仕様または注意事項についてはそれぞれの使用説明書をご覧ください。WFT-E6 / WFT-E8がお使いのカメラで使用できるかについては、お使いのカメラの使用説明書をご覧ください。

説明上の前提について

- 本書は無線LANの設定が完了し、正しく動作していることを前提に説明しています。無線LANの設定方法については、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。
- 無線ネットワークの設定を行うには、無線LANの設定方法に関する十分な知識が必要です。無線LANの設定方法については、弊社ではサポートできませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラの操作については、カメラの使用説明書をお読みになり、操作方法を理解されていることを前提に説明しています。

本文中の表記について

本書で使用するアイコンや表記の意味は次のとおりです。



使用する際に不都合が生じるおそれのある注意事項など。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項など。



参照ページを示す。

アクセスポイント

「無線親機」、「無線LAN親機」、「無線LANルーター」などのこと。
メーカーによって名称が異なることがある。

WFT

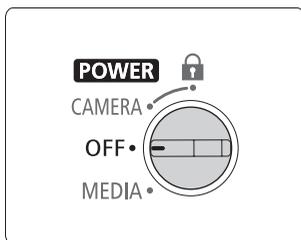
WFT-E6またはWFT-E8のこと。



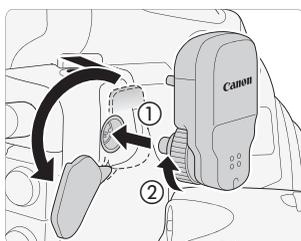
- ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害、および本アクセサリーを使用した結果生じた損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- セキュリティで保護されていない無線LANやネットワーク環境に接続することは避けてください。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。

カメラに取り付ける

WFTをカメラに取り付けます。WFTの電源はカメラから供給されますので、カメラのバッテリーは残量が十分あるものを使用してください。

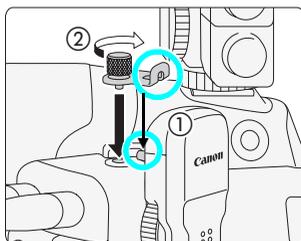


1 カメラの電源を切る



2 WFTを取り付ける

- ① 拡張システム端子のカバーを開け、WFTの端子をカメラの拡張システム端子に合わせて、押し込む。
- ② WFTを押し込みながら、締め付けねじを回す。
 - 締め付けねじが回らなくなるまで回す。



3 拡張ユニットアタッチメント金具で固定する

WFTの取り付けピンを包むように拡張ユニットアタッチメント金具の位置を合わせ ①、ネジを回して固定する ②。

4 カメラの電源を入れる

カメラから取り外す

- ① カメラの電源を切る。
- ② 拡張ユニットアタッチメント金具のねじを回して取り外す。
- ③ WFTの締め付けねじが空回りするまで、取り外し方向に回す。
- ④ WFTをカメラから取り外す。

1

無線ネットワークの 設定を行う

カメラのメニューを操作して、無線ネットワークの設定を行います。

ネットワーク機能について

Wi-Fiを使ってカメラをネットワークに接続すると、以下のネットワーク機能を使用することができます。ネットワークの接続設定の詳細は「無線ネットワーク接続について」(P7)以降のページをご覧ください。

ネットワーク機能と接続方式

機能名	概要	Wi-Fi	
		インフラストラクチャー ^{*1}	カメラアクセスポイント ^{*2}
ブラウザーリモート	ネットワーク機器から本機をリモート操作して撮影する。	—	●
メディアサーバー	カメラ内のカードに保存されている静止画を、ネットワーク機器で再生する。	●	—

^{*1} アクセスポイントを介してWi-Fiに接続する通信方式。

^{*2} 本機がアクセスポイントの働きをして、Wi-Fi機器と直接接続する方式。

無線ネットワーク接続について

ネットワーク機能を使用するために、WFTを取り付けたカメラで無線ネットワークの接続設定を行う必要があります。選択している接続設定の詳細はステータス画面で確認できます (P20)。選択している接続設定の内容を変更することもできます。無線LANへの接続方法については、お使いの無線LAN環境によって仕様や制限事項が異なります。

無線LANに接続するには、「カメラアクセスポイント」と「インフラストラクチャー」の2つの方式があり、ネットワーク機能によって使用する方式が異なります。インフラストラクチャー方式のときは、さらに4つの設定方法を選択できます。

【カメラアクセスポイント】

CAMERA MEDIA

カメラアクセスポイント：

屋外などアクセスポイントのない環境で、カメラと無線LAN対応機器を直接接続します。カメラがアクセスポイントの働き^{*2}をするので、無線LAN対応機器側はアクセスポイントに接続するのと同じ操作で接続できます。

【インフラストラクチャー】

CAMERA MEDIA

WPS (プッシュボタン方式)^{*1}：

パスワードなどの入力が必要な最も簡単な接続方法です。この方法で接続するときは、お使いのアクセスポイントがWPS用のボタンを備えていることを、あらかじめご確認ください。



WPS (PINコード方式)^{*1}：

WPS用のボタンを備えていないアクセスポイントでも、PINコードを使って接続できるものがあります。接続は自動的に行われますが、アクセスポイントの設定画面を操作して、WPS機能を動作させるための一定の知識が必要です。詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。

アクセスポイント検索：

WPS^{*1}に対応していないアクセスポイントに接続するときなどに、周囲のアクセスポイントを検索して接続できます。

手動設定：

ステルス機能を有効にしているアクセスポイントに接続するときや、さまざまな設定を手動で行うときに使用します。手動設定には、無線LANやネットワークに関する知識が必要です。

^{*1} WPSは、Wi-Fi Protected Setupの略で、アクセスポイントへの接続とセキュリティの設定を簡単に行うための規格です。

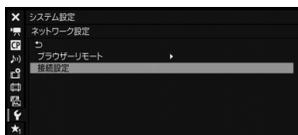
^{*2} カメラと無線LAN対応機器間の通信を行うのみで、市販のアクセスポイントの機能とは異なります。

IEEE802.11a/n/acの5 GHz帯の電波を使用する場合、地域によっては屋外またはカメラアクセスポイントでの使用に法律上の制限が定められていることがあります。お使いのWFTの使用可能地域をご確認ください。使用可能地域については、WFTに付属している別紙の「使用可能な地域と制限事項」の記載をご覧ください。

カメラアクセスポイントで接続する

CAMERA MEDIA

カメラがカメラモードのときは、カメラアクセスポイントを使用して接続します。初期状態で接続設定（SSID、暗号化キーなど）が保存されていますので、すぐにWi-Fi対応機器から接続できます。設定を変更するときには、以下の手順で操作します。



1 「接続設定」を選ぶ

- ① システム設定メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「接続設定」を順に選ぶ ▶ SETを押す。
 - 現在の接続設定が表示される。



2 SSIDを入力する

- ① SETを押す ▶ 「Input」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② SSIDを入力する。
 - 参考** ▶ 「文字入力のしかた」(□□9)
 - 入力したSSIDは接続時に必要となるため、メモしておく。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。



3 通信モードを選ぶ

- ① 「5 GHz」または「2.4 GHz」を選ぶ ▶ SETを押す。



4 チャンネルを選ぶ

- ① チャンネルを選ぶ ▶ SETを押す。
 - 操作3で選んだ通信モードによって、選択できるチャンネルが異なる。



5 認証方式と暗号化方式を選ぶ

- ① 「オープン/暗号化なし」または「WPA2-PSK/AES」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 「オープン/暗号化なし」を選んだときは、操作7に進む。



6 暗号化キーを入力する

- ① 「Input」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 暗号化キーを入力する。
 - 参考 ▶ 「文字入力のしかた」(□9)
 - 入力した暗号化キーは接続時に必要となるため、メモしておく。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - IPアドレス取得方法選択画面が表示される。

7 TCP/IP設定を行う(□16)

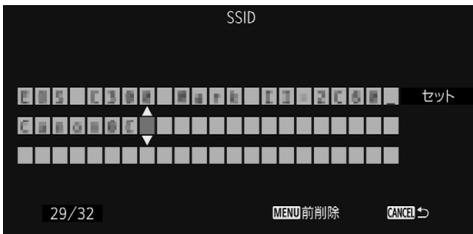
文字入力のしかた

モニターユニットを接続しているとき： キーボード画面で操作します。



①	入力フィールド
②	文字入力キー
③	カーソルの移動
④	1文字消去 (MENUボタンでも操作可能)
⑤	現在の文字数 / 入力可能文字数
⑥	入力を決定 キーボードを終了
⑦	入力を中止

モニターユニットを接続していないとき： 次の画面で操作します。

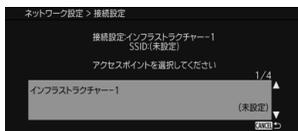


- ① ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して、文字を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② ①の操作を繰り返し文字を入力する ▶ 「セット」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - MENUボタンを押すと1文字消去できる。

インフラストラクチャーで接続する

CAMERA MEDIA

カメラがメディアモードのときは、インフラストラクチャー方式で接続します。接続にはアクセスポイントが必要です。インフラストラクチャー方式の設定はカメラに4つまで保存でき、ネットワーク環境に合わせて切り換えて使用できます。



1 インフラストラクチャーの接続設定を選ぶ

- ① システム設定メニュー ➤ 「ネットワーク設定」 ➤ 「接続設定」を選ぶ ➤ SETを押す。
 - 現在の接続設定が表示される。
- ② ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して接続設定を選ぶ ➤ SETを押す。



2 「編集」を選ぶ

- ① 「編集」を選ぶ ➤ SETを押す。
 - 操作①で選んだ接続設定を変更しないときは、「OK」を選ぶ。以降の操作は不要。
 - 各設定方法のページを参照して、以降の操作を行う。
 - 「WPS:プッシュボタン」のとき： → 11
 - 「WPS:PINコード」のとき： → 11
 - 「アクセスポイント検索」のとき： → 13
 - 「マニュアル」のとき： → 15

WPSで接続する

CAMERA MEDIA

WPSのプッシュボタン方式またはPINコード方式で接続します。プッシュボタン方式では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、カメラとアクセスポイントを簡単に接続することができます。PINコード方式では、カメラの画面に表示される8桁の識別番号（PINコード）を、アクセスポイントの設定画面に設定して接続します。周囲に複数のアクセスポイントが稼働している状況でも、比較的接続しやすい方式です。

プッシュボタン方式の場合



1

カメラ 「WPS:プッシュボタン」を選ぶ

① 「WPS : プッシュボタン」を選ぶ ▶ SETを押す。



2

アクセスポイント WPS用のボタンを長押ししてWPSを起動する

- 長押しの時間はアクセスポイントによって異なります。必ず、アクセスポイントの説明書をご覧ください。なってから操作を行い、アクセスポイントがWPS起動状態になったことを確認してください。
- 操作3に進む。

PINコード方式の場合



1

カメラ 「WPS: PINコード」を選ぶ

① 「WPS : PINコード」を選ぶ ▶ SETを押す。
● 7～8秒すると画面にPINコードが表示される。



2

アクセスポイント WPS (PINコード方式) の設定画面*に、操作1で表示されたPINコードを入力してWPSを起動する

- *多くのアクセスポイントは、Webブラウザーから設定します。
- アクセスポイントの操作については、アクセスポイントの説明書をご覧ください。

3

カメラ 操作2から2分以内にSETを押す

- アクセスポイントへの接続を開始する。
- 「接続中です」の画面が出ているときにSETまたはCANCELを押すと、接続を中止する。
- 接続が完了すると、IPアドレス取得方法選択画面が表示される。

4

カメラ TCP/IP設定 (P16) を行う



プッシュボタン方式の場合、周囲に複数のアクセスポイントが稼働していると、うまく接続できないことがあります。このときは、WPS (PINコード方式) またはアクセスポイント検索で接続してください。

アクセスポイントを検索して 接続する

CAMERA MEDIA

カメラが周囲のアクセスポイントを自動的に検出します。検出されたアクセスポイントの一覧から接続するアクセスポイントを選び、暗号化キーを入力して接続します。

アクセスポイントを選ぶ



1 アクセスポイント検索を選ぶ

- ① 「アクセスポイント検索」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 周囲のアクセスポイントが検索され、見つかったアクセスポイントのSSIDと暗号化状態などの情報が表示される。

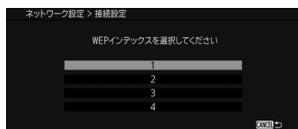


2 アクセスポイントを選ぶ

- ① ジョイスティックを上下に押して、接続するアクセスポイントのSSIDを選ぶ ▶ SETを押す。

暗号化キーを入力する

アクセスポイントに設定されている暗号化キーを設定します。設定されている暗号化キーについては、アクセスポイントの説明書をご覧くださいか、無線LANの管理者にお問い合わせください。なお、アクセスポイントの認証方式／暗号化方式が「オープン／暗号化なし」のときは、操作3のみ行います。



1 暗号化方式が「WEP」または「共有キー」のとき
WEPインデックスを選びSETを押す



2 暗号化キーを入力する

① 「Input」を選ぶ ▶ SETを押す。

● 入力画面が表示される。

② 暗号化キーを入力する。

参考 ▶ 「文字入力のしかた」(□9)

③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。

● IPアドレス取得方法選択画面が表示される。



3 TCP/IP設定 (□16) を行う

暗号化キーに使用可能な文字と文字数

暗号化キー	ASCII文字列 ^{*1}	16進数 ^{*2}
64ビットWEP	5文字	10文字
128ビットWEP	13文字	26文字
AES / TKIP	8～63文字	64文字

*1 0～9、a～z、A～Zおよび記号。

*2 0～9、a～f、A～F。

手動設定で接続する

CAMERA MEDIA

手動設定でアクセスポイントへの接続設定をします。画面の案内に従って、ウィザード形式で操作します。



1 手動設定を選ぶ

- ① 「マニュアル」を選ぶ ▶ SETを押す。



2 SSIDを入力する

- ① 「Input」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② SSIDを入力する。
参考 ▶ 「文字入力のみしかた」(□9)
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。



3 認証方式を選ぶ

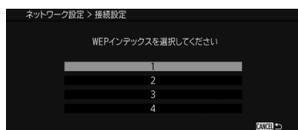
- ① 「オープン」、「共有キー」、「WPA,WPA2-PSK」のいずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
 - 「共有キー」を選んだときは操作5に、「WPA,WPA2-PSK」を選んだときは操作6に進む。



4 「オープン」を選んだとき

暗号化方式を選ぶ

- ① 「WEP」または「暗号化なし」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 「暗号化なし」を選んだときは、操作7に進む。



5 WEPインデックスを選んでSETを押す



6 暗号化キーを入力する

- ① 「Input」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 入力画面が表示される。
- ② 暗号化キーを入力する。
参考 ▶ 「文字入力のみしかた」(□9)
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - IPアドレス取得方法選択画面が表示される。

7 TCP/IP設定 (□16) を行う

TCP/IPを設定する

CAMERA MEDIA

ここでは、はじめにTCP/IPの設定を行い、次にネットワーク設定を保存します。TCP/IPの設定内容の詳細については、ネットワーク管理者またはネットワークに詳しい方にお問い合わせください。



1 IPアドレスの取得方法を選ぶ

- ① いずれかを選ぶ ▶ SETを押す。
オート： 自動で設定する。
マニュアル： IPアドレス、サブネットマスクを手動で設定する。
 - 「オート」を選んだときは操作3に進む。



2 IPアドレス、サブネットマスクを入力する

- ① ジョイスティックを右に押し、1番目の数字の入力状態にする。
- ② ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して1番目の数字を選び、SETを押す。
 - カーソルが2番目の数字に移動する。
- ③ ②の操作を繰り返して、4つの数字をすべて設定する。
- ④ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、SETを押す。
 - IPアドレスが設定される。
- ⑤ IPアドレスと同じ要領でサブネットマスクを入力する。



3 設定内容を確認する

- ① ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して確認画面を切り換え、設定内容を確認する。
- ② SETを押す。



4 メディアモードのとき

ネットワーク設定名を入力する

- ① 「Input」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 入力画面が表示される。
- ② ネットワーク設定名を入力する。
参考 ▶ 「文字入力のしかた」(□9)
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。

5 設定を保存する

- ① 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - ネットワークの設定が保存される。すでにネットワーク設定が保存されている場合、新しい設定で上書きされる。
- ② SETを押す。

ブラウザーリモートの接続設定を行う

CAMERA MEDIA

ネットワークに接続した機器のWeb ブラウザーからブラウザーリモートにアクセスするとき使用するカメラ設定は、初期設定が保存されています。設定の内容（カメラIDとポート番号）は、ネットワーク設定ステータス画面で確認できます。これらの設定は必要に応じて変更することもできます。

カメラID： カメラ固有の文字列を設定しておく、ブラウザーリモート画面にカメラIDが表示されるので、制御対象のカメラを識別することができます。

ポート番号： HTTPプロトコルのポート番号。通常は80を使用し、必要に応じて変更します。



1 「ブラウザーリモート」を選ぶ

- ① システム設定メニュー ▶ 「ネットワーク設定」
▶ 「ブラウザーリモート」を選ぶ ▶ SETを押す。



2 カメラIDを入力する

- ① ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して「カメラID」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② 「Input」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ③ 8文字以内のカメラIDを入力する。
参考 ▶ 「文字入力のしかた」(P9)
- ④ 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。



3 ポート番号を入力する

- ① ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して「Port No.」を選ぶ ▶ SETを押す。
- ② ジョイスティックを右に押し、1番目の数字の入力状態にする。
- ③ ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回してPort No.の1番目の数字を選ぶ ▶ SETを押す。
● カーソルが2番目の数字に移動する。
- ④ ③の操作を繰り返して、5つの数字をすべて入力する。
- ⑤ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、SETを押す。

ブラウザーリモートのユーザー設定を行う

CAMERA MEDIA

ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートにアクセスするときの認証に使用するユーザー設定は、初期設定が保存されています。設定の内容（ユーザー数、ユーザー名とパスワード）は、ネットワーク設定ステータス画面で確認できます。ユーザーには次の3種類があり、用途に応じて1ユーザー（Full Controlのみ）か複数ユーザー（Camera ControlとMeta Control）かを選択できます。これらの設定は必要に応じて変更することもできます。なお、初期設定では、ユーザー数は「1名(Full Control)」に設定されていますので、必要に応じて、ここで変更します。

Full Control： 詳細操作画面、メタデータ入力画面、簡易操作画面のすべてにアクセス可能。

Camera Control： 詳細操作画面のみにアクセスできる。カメラの制御を行うユーザー用。

Meta Control： メタデータ入力画面のみにアクセスできる。メタデータの入力を行うユーザー用。



1 「ユーザー設定」を選ぶ

- ① システム設定メニュー ➤ 「ネットワーク設定」 ➤ 「ブラウザーリモート」を順に選ぶ。
- ② 「ユーザー設定」を選ぶ ➤ SETを押す。



2 ユーザー数を選択する

- ① 「1名(Full Control)」または「2名(Camera/ Meta)」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
 - 選択したユーザーのログイン情報が表示される。
 - * パスワードは、初期設定のみ内容が表示される。



3 ユーザーのログイン情報を変更する

- ログイン情報を変更しないときは「OK」を選んでSETを押す。以降の操作は不要。
- ① 「編集」を選ぶ ➤ SETを押す。
- ② 「Input」を選ぶ ➤ SETを押す。
 - 入力画面が表示される。
 - 参考** ▶ 「文字入力のしかた」(P9)
- ③ Full ControlまたはCamera Controlのユーザー名を入力する ➤ 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- ④ 「Input」を選ぶ ➤ SETを押す。
- ⑤ パスワードを入力する ➤ 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。



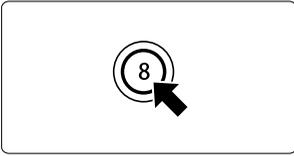
2名(Camera/Meta)を選んだとき

②～⑤と同様に操作してMeta Controlのユーザー名とパスワードを設定する。

- ⑥ 「OK」を選ぶ ➤ SETを2回押す。

無線ネットワーク設定を確認する

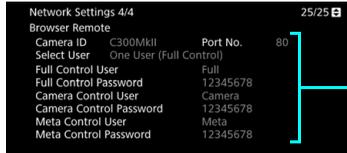
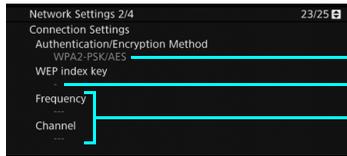
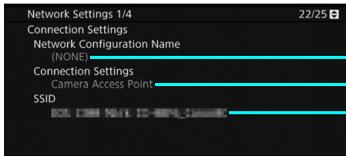
カメラのNetwork Settingsステータス画面で現在の無線ネットワーク設定を確認することができます。



1 ステータス画面を表示する

例：カメラアサイン8ボタンに「Status」を割り当てて、操作する場合

- ① カメラアサイン8ボタンに「Status」を割り当てる。
参考▶▶ カメラの使用説明書の「アサインボタンの機能を変更する」
- ② カメラアサイン8ボタンを押す。
- ③ ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して、Network Settingsステータス画面1/4～4/4を切り換える。



- 1 ネットワーク設定名
- 2 接続方式
- 3 SSID

- 4 認証/暗号化方式
- 5 WEPインデックスキー
- 6 周波数、チャンネル
- 7 TCP/IP設定
IPアドレスの取得方法、
IPアドレス、サブネットマスク、
MACアドレス

- 8 ブラウザーリモート設定
カメラID、ポート番号、ユーザー数、
Full Controlのユーザー名とパスワード*、
Camera Controlのユーザー名とパスワード*、
Meta Controlのユーザー名とパスワード*
*パスワードは初期設定のみ表示される。

2

ネットワーク機能を使う

ネットワークに接続したパソコンや携帯端末のWebブラウザからネットワーク機能を使うことができます。

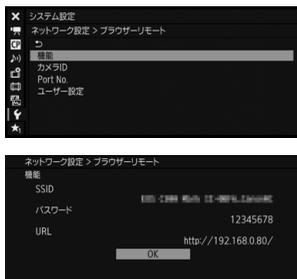
ブラウザーリモートを起動する

CAMERA MEDIA

パソコンや携帯端末などネットワークに接続した機器^{*1}のWebブラウザ^{*2}からブラウザーリモートを起動します。Webブラウザの操作については、Webブラウザのヘルプなどをご覧ください。

^{*1} OS、Webブラウザなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

^{*2} JavaScript（ジャバスクリプト）に対応し、Cookie（クッキー）が有効になっている必要があります。



1 カメラ ブラウザーリモートを選ぶ

- ① カメラモードで **システム設定メニュー** → 「ネットワーク設定」 → 「ブラウザーリモート」 → 「機能」 → 「入」を順に選ぶ → SETを押す。
 - 本機がカメラアクセスポイントになり、画面にSSIDとパスワード^{*}、URLが表示される。
^{*} 初期設定のときのみ。
- ② SETを押す。
 - 画面に  (黄色) が表示され、ブラウザーリモートの接続準備が完了すると、白色に変わる。

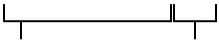
2 パソコンなど カメラに接続する

- ① Wi-Fi対応機器のWi-Fi設定を行い、カメラに接続する。

3 パソコンなど Webブラウザを起動する

4 パソコンなど URLを入力して、ブラウザーリモートを起動する

- ① URLの入力欄に次のように入力して、アクセスする。
入力例 「http://xxx.xxx.xxx.xxx:nnn/」

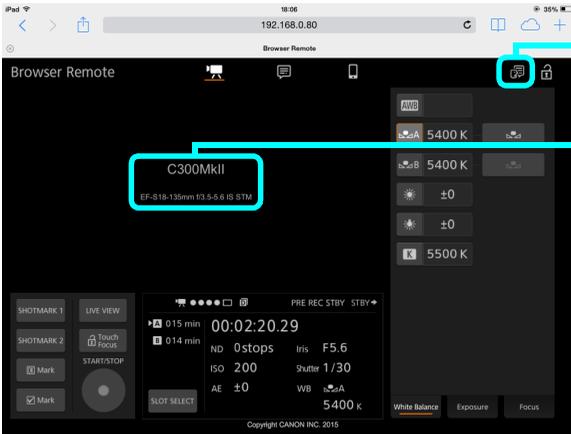

操作1で確認した
カメラのIPアドレス 18ページで設定したポート
番号（80のときは省略可能）



※ ログイン認証画面の例です。
表示される画面はWeb ブラウザーによって異なります。

5 パソコンなど ユーザー名とパスワードを入力する

- 「ブラウザリモートのユーザー設定を行う」(図19) の設定に応じて、ログインするユーザーの「ユーザー名」と「パスワード」を入力する。
 - 初期設定のユーザー設定を使用するときは、カメラの「Network Settings」ステータス画面で、ユーザー IDとパスワードを確認して、入力する。
- ① 名前（またはユーザー名）入力欄に、ユーザー名を入力する。
 - ② パスワード入力欄にパスワードを入力する。
 - ③ 「ログイン」を選ぶ。
 - ブラウザーリモートの画面が表示される。
 - ブラウザーリモートに接続中は、ブラウザリモート画面の「●●●●」が順に点灯→順に消灯を繰り返す。
 - ユーザー名とパスワードが不明のときは、カメラの管理者にお問い合わせください。



言語選択

カメラIDとレンズ型名情報

6 **パソコンなど** カメラIDと装着しているレンズを確認する

- ログインしたユーザーに応じたブラウザーリモート画面が起動し、画面中央にカメラIDとレンズ型名情報が表示される。
- ① 表示されたカメラIDがリモート撮影に使用するカメラのIDであることを確認する。

 カメラに「カメラID」を設定していないときは、ブラウザーリモート画面でカメラIDは表示されません。

メディアサーバーを起動する

CAMERA MEDIA

メディアモードの場合、カメラ内のカードに保存されている静止画を、ネットワーク経由で再生できます。保存されているネットワーク接続設定から1つを選んでから、以下の操作を行ってください。無線ネットワークの新規設定を行った直後は、新規設定したネットワーク設定番号が自動的に選択されます。



1 「選択」を選ぶ

- ① システム設定メニュー ▶ 「ネットワーク設定」
▶ 「接続設定」を順に選ぶ。



2 ネットワーク設定番号を選ぶ

- ① ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して番号を選ぶ ▶ SETを押す。
 - 現在の接続設定が画面に表示される。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ SETを押す。



3 メディアサーバーを起動する

- ① 「メディアサーバー」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - パソコンや携帯端末から本機の静止画を再生可能になる。
- 参考** ▶ カメラの使用説明書の「静止画を再生する」
→ 「ネットワーク機器で再生する」。
- SETを押すと、メディアサーバーを終了する。

3

その他

トラブルシューティング

無線LANに接続できないなどトラブルが発生したときは、ここで説明する内容を確認してください。それでも直らないときは、お客様相談センター（カメラ使用説明書の巻末に記載）にご相談ください。

はじめに確認してください

- アクセスポイントやパソコンなどのネットワーク機器とカメラの電源は入っていますか？
- WFTは、カメラの拡張システム端子に正しく取り付けられていますか？
- 無線LANの設定が完了し、正しく動作していますか？
- パソコンなどのネットワーク機器は、カメラと同じネットワークに正しく接続していますか？
- カメラをアクセスポイントまたはパソコンなどの無線LAN対応機器から見通しの良い場所に置いていますか？

こんなときは	どうするの？	📖
アクセスポイントに接続できない。	<ul style="list-style-type: none">● 保存しておいたメニュー設定を本機に読み込むと、暗号化キーとパスワードが解除される。再度、ネットワーク設定を行う。● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「無線LAN接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。	7 29
カメラアクセスポイントで、カメラに接続できない。	<ul style="list-style-type: none">● カメラの全設定をリセットすると、ネットワーク設定が解除される。初期設定で接続するか、再度設定を行う。● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「無線LAN接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。	8 29
ブラウザーリモートが起動できない。	<ul style="list-style-type: none">● ⏪ システム設定メニュー ⏩ 「ネットワーク設定」 ⏩ 「ブラウザーリモート」 ⏩ 「機能」 でブラウザーリモートを有効にする。● ネットワーク機器のWebブラウザーに入力したURLが間違っている。画面に表示されたカメラのIPアドレスをURLに入力する。	22 —
ネットワーク機器のWebブラウザーで、ブラウザーリモートの画面が正しく表示されない。	<ul style="list-style-type: none">● ブラウザーリモートが対応していないOSやWebブラウザーを使用した。キヤノンのホームページで動作環境を確認する。● Webブラウザーの設定で、CookieとJavaScriptが無効になっているときは、有効にする。	— —

無線LAN接続の注意点とトラブル対処方法

ここでは、無線LANの接続に関する注意点と、トラブル発生時の一般的な対応方法を説明します。無線LANを使用しているときに「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」などの現象が起きたときには、以下の例を参考に対応してください。

アクセスポイントの設置場所について

- 無線LANを室内で使用するときは、カメラを使用する部屋に設置してください。
- カメラとの間に人や遮蔽物が入らない、見通しの良い場所に設置してください。
- カメラにできるだけ近付けて設置してください。特に、雨天の屋外で使用すると、電波が雨に吸収されて接続が途切れることがあります。

周囲の電子機器について

- 周囲にある電子機器の影響（電波の干渉）で通信速度が遅くなるときは、5 GHz帯の電波を使用するか、チャンネルを変更すると、問題を解消できることがあります。
- IEEE 802.11b/g/nの無線LANでは、電子レンジやコードレス電話機、ワイヤレスマイク、Bluetooth機器などと同じ2.4 GHz帯の電波を使用します。このため、周囲にこれらの機器があると通信速度が遅くなります。
- WFTと同じ周波数帯を使用するアクセスポイントが近くで稼働していると、通信速度が遅くなります。

WFTやアクセスポイントを複数台使用するとき

- 同一ネットワーク内の機器のIPアドレスが重複しないようにしてください。
- 同じアクセスポイントにWFTを2台以上接続すると、通信速度が遅くなります。
- IEEE 802.11b/gまたはIEEE 802.11n（2.4 GHz帯）のアクセスポイントを複数台使用するときは、電波干渉を少なくするため、無線LANのチャンネルの間隔を、「1、6、11」、「2、7、12」、「3、8、13」のように4チャンネル分空けてください。5 GHz帯の電波を使用するIEEE 802.11ac/n/a（5 GHz帯）が使用可能なときは、IEEE 802.11ac/n/a（5 GHz帯）に切り換え、異なるチャンネルを設定してください。

エラーメッセージ

カメラの画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。それでも直らないときは、お客様相談センター（カメラ使用説明書の巻末に記載）にご相談ください。

メッセージ	原因と対処	📖
アクセスポイントが見つかりませんでした	<ul style="list-style-type: none">● アクセスポイント検索を実行したが見つからなかった。アクセスポイントが正常に動作しているか確認して、もう一度接続を行う。● アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると、見つからない。ステルス機能を無効にする。● アクセスポイントのMACアドレスフィルタリングを有効にしていると見つからないことがある。カメラの Network Settingsステータス画面でWFTのMACアドレスを確認し、アクセスポイントに設定する。	— — 20
カバーがあいています	<ul style="list-style-type: none">● ネットワーク機能がカードにアクセス中に、カードカバーが開けられた。ネットワーク機能を中止し、ネットワーク接続を切断する。	—
接続できませんでした	<ul style="list-style-type: none">● アクセスポイントなどのネットワーク機器に接続できなかった。● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。	— —
拡張システム端子に接続した機器を確認してください	<ul style="list-style-type: none">● WFTにハードウェアエラーが発生した。カメラの電源を切ってWFTを取り付け直した後、カメラの電源を入れ直す。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
ネットワーク設定を確認してください	<ul style="list-style-type: none">● ネットワークに接続できない。ネットワークの接続設定を確認する。	20
複数のアクセスポイントが検出されました もう一度操作してください	<ul style="list-style-type: none">● 他の無線LAN機器がWPS のプッシュボタン方式で接続を行っている。しばらくしてから操作するか、「WPS : PINコード」または「アクセスポイント検索」で接続する。	10
ワイヤレスマイクロホン接続中はWi-Fiを使用できません	<ul style="list-style-type: none">● カメラにワイヤレスマイクロホンWM-V1を接続していると、無線LAN機能を同時に使用できない。カメラからWM-V1を取り外し、WM-V1の電源を切る。	—
IP アドレスが重複しています	<ul style="list-style-type: none">● カメラと同じIPアドレスの機器が、同一ネットワーク内にあった。IPアドレスが重複している他機またはカメラのIPアドレスを変更する。	16

メッセージ	原因と対処	📖
IP アドレスを取得できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ● DHCP サーバーを使用していないときは、Wi-Fi接続を「手動設定」で行い、IPアドレスを「マニュアル」で設定する。 ● DHCP サーバーを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ● DHCP サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 ● DHCP サーバーに割り当てられるアドレスに余裕はあるか。 	16 —
WFTエラー Wi-Fi設定を確認してください	● カメラに保存されている接続設定に、お使いのWFTで使用できない設定が含まれる。接続設定をやり直すか、カメラの設定をリセットする。	—
WFTの温度が上昇したため、Wi-Fiが使用できません	● ビデオカメラの電源を切り、ワイヤレスファイルトランスミッターを取り外して冷ます。	—
Wi-Fiの暗号化キーが違います	● 認証/暗号化方式に「オープン/暗号化なし」以外を選んだとき、入力した暗号化キーが、アクセスポイントの暗号化キーと一致しなかった。アクセスポイントの暗号化キーを確認して、再度入力する。	14
Wi-Fi の暗号化方式が違います	● カメラとアクセスポイントの認証/暗号化方式が異なる。カメラをアクセスポイントの設定に合わせる。	10
Wi-Fi の認証ができませんでした	● アクセスポイントへの認証ができなかった。アクセスポイントの認証/暗号化方式を確認して、カメラの接続設定をやり直す。	10
Wi-Fi の認証方式が違います	● カメラとアクセスポイントの認証/暗号化方式が異なる。カメラをアクセスポイントの設定に合わせる。	10
WPSで接続できませんでした	● アクセスポイントの暗号化方式がWEPに設定されている。WPSで接続する場合、暗号化方式がWEPのアクセスポイントには接続できない。アクセスポイントの暗号化方式を変更するか、WPS以外の接続方法で接続する。	10
WPSで接続できませんでした もう一度操作してください	<ul style="list-style-type: none"> ● WPS起動後に2分経過したため、アクセスポイントに接続できなかった。もう一度、WPS接続を行う。 ● WPS（プッシュボタン方式）で接続するときは、あらかじめアクセスポイントの説明書をご覧ください、アクセスポイントがWPS起動状態になるまで、WPSのボタンを押してください。 	— —

ネットワーク機器の画面に表示されるメッセージ

メッセージ	原因と対処	📖
A User is already accessing the server. Try again later. [Retry]	<ul style="list-style-type: none">● 他のネットワーク機器が、すでにカメラに接続している。他機の接続を解除してから「Retry」をタッチする。	—

索引

あ	
アクセスポイント検索	13
暗号化キー	14
暗号化方式	15
インフラストラクチャー	10
エラーメッセージ	30
オープン	15

か	
カメラアクセスポイント	8
カメラ ID	18

さ	
サブネットマスク	16
使用可能地域	7
ステータス画面	20
接続	7

た	
チャンネル	29
トラブルシューティング	28

な	
認証方式	15
ネットワーク	5

は	
プッシュボタン方式	7, 11
ブラウザ	22
ブラウザリモート	18
ポート番号	18

ま	
無線 LAN 規格	7
メディアサーバー	25
文字入力のしかた	9

や	
ユーザー設定	19

ら	
リモート撮影	22
ルーター	3

英数字	
IEEE.802.11a/b/g/n	7, 29
IP アドレス	16
MAC アドレス	20
PIN コード方式	7, 11
SSID	13
TCP/IP	16
URL	22
WEP	15
WPA,WPA2-PSK	15
WPS (Wi-Fi Protected Setup)	7

- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における商標または登録商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- カメラの設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味しています。
- JavaScriptは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。



キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

お客様相談窓口

製品の取り扱い方法、修理については、機種名をご確認のうえ、お買い上げの販売店、またはお客様相談窓口にお問い合わせください。

CINEMA EOS SYSTEMホームページ

CINEMA EOS SYSTEMのホームページを開設しています。インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
canon.jp/cinema-eos

この使用説明書は2016年12月に作成したものです。それ以降に発売された製品との組み合わせにつきましては、サービス窓口にお問い合わせください。